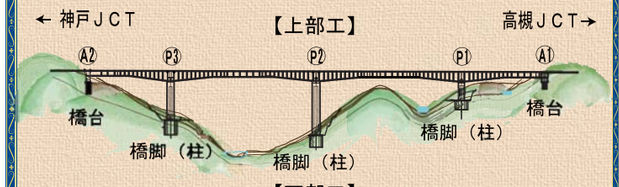
下音羽川橋上部工工事に着手（茨木市下音羽地区）

事務所管内で初めての上部工工事に着手しました。
下音羽川橋の建設予定地付近は、工事用の車両が通行できる道路がなく、地元の皆様のご理解とご協力を頂き竜王山自然歩道を限定的に利用し下部工工事を進めておりました。
同時に新名神本線内を活用した工事用道路工事も進め昨年１２月末にようやく竜王山側の工事現場まで通行できるようになりました。
これにより、本線内工事用道路を活用した工事施工が可能となり、現在Ｐ３橋脚（高さ約30m）の柱頭部分の施工を実施しております。

【竜王山側への工事用道路】

【Ｐ３橋脚柱頭部施工中】



＜参考＞
上部工：橋台や橋脚（柱）の上に設けられる、けたの部分
下部工：基礎や橋台、橋脚（柱）の部分

現場で働く建設機械（アーティキュレートダンプトラック）

車体屈折式ダンプトラック。
現場内での土砂や岩石の運搬に使用しています。
運転席部と荷台部の連結部分が屈折することにより旋回半径が小さくなります。
全輪駆動で接地性もよく悪路走行にも優れています。

（写真：最大積載量約２７t）

大阪地区不当要求防止対策連絡会（11 月）

１１月１５日（木）大阪府域を管轄するネクスコ西日本の各事務所、グループ会社、新名神大阪西事務所に関係する工事請負人並びに大阪府警本部を含む関係機関による連携強化・情報交換の連絡会を開催しました。

事業説明会（12 月）

１２月４日（火）に高槻市生涯学習センター多目的ホールにて、翌５日（水）に茨木市福祉文化会館文化ホールで、大阪府と共同で土地収用法に基づく事業説明会を開催し事業経緯や進捗状況を説明しました。

新年工事安全祈願（1 月）

高槻市の阿久刀神社で新年工事安全祈願を行いました。現在２１件の工事を発注しており、平成２５年は、各地区で工事最盛期に近づくことから今年は無事故・無災害で無事工事が進捗するよう祈願しました。

緑のリサイクル

当社では供用中道路の草刈作業などで発生した刈草・枝を自社のリサイクルプラントで堆肥化しています。
その一部を建設する道路法面の緑化資材として再利用しています。

（写真：堆肥を混ぜた法面緑化）

お知らせ
これまで本誌は「ハイウェイおおさか」として発刊しておりましたが、７月１７日より新名神大阪東事務所が、枚方市に移転し営業を開始したことにより、名称を「ハイウェイ新名神大阪西」に変更することとしました。これからは、当事務所が担当する区間の情報を中心に掲載します。
なお、新名神大阪東事務所の情報も必要に応じて掲載していく予定です。引続きよろしくお願い致します。

高槻第一 JCT（仮称）～八幡 JCT・IC（仮称）間の状況

《最近の状況》
◎H24.10 枚方市域事業説明会（６会場）開催
◎H25.01 鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会（第１回）開催
【担当事務所】新名神大阪東事務所
住所：大阪府枚方市岡東町８－９
TEL：072-804-3570

24時間高速道路の道路交通情報を提供
アイハイウェイへアクセス！ http://ihighway.jp
提供範囲 NEXCO西・中・東が運営する高速道路等、本州四国連絡高速道路（※一部道路を除く）
ハイウェイ交通情報ウェブサイト iHighway

日本の元気を関西から!!
新名神
●お問い合わせ窓口●
西日本高速道路株式会社 関西支社
新名神大阪西事務所
〒569-1133
大阪府高槻市川西町 2-10-20
TEL: 072-655-9900
FAX: 072-655-9901

我々は、安全・安心・快適性を届け
地域に愛される道路の創造に向け
全力投球します！

ＮＥＸＣＯ西日本『新名神高速道路』の情報はこちらのアドレスへ！
http://corp.w-nexco.co.jp/activity/branch/kansai/shinmeishin/

vol.23
2013 February

ハイウェイ新名神大阪西

所長挨拶

所長　松室 圭介

平成２５年２月、梅のつぼみもそろそろ膨らみ、着実に開花の準備を進めています。新名神高速道路も皆様に喜んでいただける高速道路となるよう、着実に事業を進めていきたいと考えております。今年も頑張ります！
新名神事業（大阪府域）につきましては、皆様のおかげをもちまして、１月末現在で、用地取得率も約９割となりました。貴重な土地を提供いただいた地権者の皆様、地元自治会並びに関係者の皆様、誠にありがとうございました。
本線工事も、全線にわたって本格化してきました。新名神において最長のトンネルとなる箕面トンネル（延長約５ｋｍ）も掘削を開始し、各地区において高速道路の姿が見えてきました。安全第一に細心の注意を払い進めていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。
昨年は新たに、国土交通省より新名神（大津～城陽、八幡～高槻間）の事業許可をいただき、全線着工の運びとなりました。東日本大震災を受け、国土ネットワークの多重化が重要視される中、既着工区間とともに、これに応えていくわけですが、もうひとつ重要な役割があります。それは老朽化対策です。
名神高速道路（栗東～尼崎間）が、今年５０周年を迎えます。中央道笹子トンネルの事故を教訓に、日々点検・管理を行っているところですが、いずれ抜本的な対策が必要となってきます。新名神高速道路を完成させることにより、社会・経済に大きな影響を与えることなく、現名神・中国道の大規模な老朽化対策に取り組めるということです。事故で亡くなられた方々のご冥福を祈りますと共に、より一層の努力をしてまいる所存です。
今後とも、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

新名神高速道路（高槻～箕面間）建設事業進捗状況

平成 25 年 1 月末現在

| 事務所 | 新名神大阪西事務所　高槻市～池田市　19.5 km | | |